

1. 打ち水 2. 火の見やぐら 3. さすまた 4. 纏（まとい）

1. 東アジア最大級のブナの原生林が広がる白神山地
2. 海上に建つ独創的な建築様式を持つ厳島神社
3. 火山活動によって形成された大規模なカルデラを持つ阿蘇山
4. 独自の進化を遂げた動植物が数多く生息する小笠原諸島

1. 東經145度 2. 東經140度 3. 東經130度 4. 東經135度

1. 地形図上の地名の記載順序と、空中写真の撮影ルートを照合して、撮影された時刻を算出する。
2. 空中写真では高低差が把握できないため、土地の高さに関わる情報はすべて無視して比較する。
3. 地形図に示された集落の広がりや、空中写真に写る建物の密度を比較して、都市化の進行を確認する。
4. 地形図にある等高線の間隔が広い場所を、空中写真で傾斜の急な崖として判読する。

1. 日本領土の最北端は択捉島であり、その周辺から北海道の東方を南下する寒流は親潮（千島海流）である。

2. 日本領土の最北端は択捉島であり、その周辺を太平洋に沿って北上する暖流は黒潮（日本海流）である。

3. 日本領土の最北端は国後島であり、その周辺から北海道の東方を南下する寒流は親潮（千島海流）である。

4. 日本領土の最北端は国後島であり、その周辺を太平洋に沿って北上する暖流は黒潮（日本海流）である。

1. 公海上の航行の自由を制限し、日本の船舶が優先的に通行できるようにするため	2. 領土の面積を拡大させ、他国の船舶が一切立ち入れない海域を増やすため	3. 接続水域を広げることで、密輸や密入国などの犯罪の取り締まりを強化するため	4. 島を基点とする広大な排他的経済水域を維持し、周辺の資源を確保するため
---	--------------------------------------	---	---------------------------------------

1. 面積は広いものの山地が多いため、居住可能な面積は狭く、結果として中部地方よりも人口が多くなっている。
2. 面積は全国で最大であるが、人口も関東地方に次いで2番目に多く、広大な土地に多くの人々が分散して住んでいる。
3. 国土の約2割を占める日本最大の面積を持つが、人口は他の地方に比べて相対的に少なく、人口密度は全国で最も低い。
4. 面積は東北地方に次いで2番目に広く、札幌市を中心とした都市部に人口が集中しているため、人口密度は全国平均を上回る。

1. 北緯45度付近に位置する日本最北端の地点で、北海道に属している。

1. 南鳥島 2. 与那国島 3. 沖ノ鳥島 4. 択捉島

1. 政令指定都市 2. 振興局所在地 3. 道庁所在地 4. 地方中枢都市

1. 択捉島と国後島 2. 歯舞群島と国後島 3. 国後島と択捉島 4. 歯舞群島と択捉島

1. 広島市 2. 松山市 3. 高松市 4. 岡山市

1. 200,000m 2. 2,000m 3. 200m 4. 20,000m

1. 群馬県 2. 山梨県 3. 長野県 4. 岐阜県